

REPORT



神奈川県立保健福祉大学大学院

映像教材とともに系統的に
スクリーニングを学習

概要

当校の助産課程では、助産実践演習Ⅰ「妊娠期の超音波基礎と実際」において超音波診断装置の基礎と使い方を学習しています。院内助産・助産師外来で助産師が実際に行う可能性のある、妊娠中・後期の検査について、胎児発育評価を含めた計測法をシミュレータとともに学習します。今回は新しく、映像教材（YouTube）を導入し、胎児計測だけでなく、系統的なスクリーニングも学習することができました。

指導者の想い



香川秀之

関東労災病院 副院長
神奈川県立保健福祉大学
客員教授

胎児エコー演習を実施する上で、限られた時間内に学生一人ひとりにより深い学習の場を提供するために、映像教材の事前視聴は役立ちました。

実習においても映像教材を視聴、確認しながら演習する中で、学生が苦手な部分に絞って指導にあたることができました。

学生は繰り返し画像描出にトライし、少しずつ映像教材に近い画像を自分の力でみつける喜びを体験できたと感じています。



谷口千絵

神奈川県立保健福祉大学大学院
博士前期課程 助産実践コース
教授

これまでは胎児計測に焦点をあてた演習を行ってきました。それ以外のスクリーニング手技については、DVD教材を活用していました。今回から導入した映像教材はポイント解説付であり学生からは「わかりやすい内容でありプローブ走査の理解がより深まった」と好評でした。

映像教材はYouTubeにアップされているため、より学生の自己学習を促しやすくなりました。次年度からの演習でも継続して活用する予定です。



モニター
(映像教材)

教育用エコー装置

胎児超音波用ファントム

演習の流れ

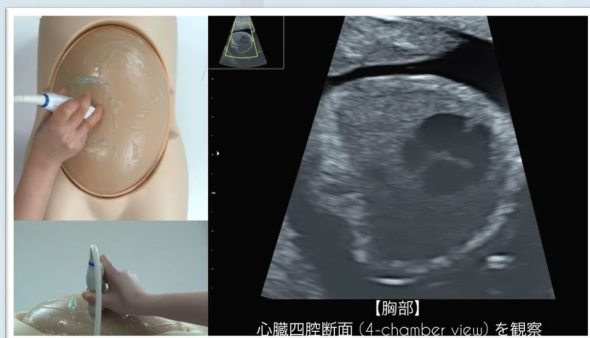
時間	内容
20分	妊娠期の超音波検査の基礎と実際（講義）
20分	映像教材 視聴
5分	プローブの説明／基本走査の実演
20分	実践-胎児発育の評価（計測）
20分	実践-胎児スクリーニング（異常所見有無確認）
5分	総括

学生の声

- ・教科書だけではわかりにくい部分を映像教材でイメージをもって演習に取り組むことができた。目標の画像とプローブを置く位置など参考にしながらできたのでよかった。
- ・演習では先生からスクリーニングのポイントを丁寧に指導いただき、基本走査を実演できた。映像教材で復習もできるので、助かります。
- ・自分で目標画像を映すことができたとき、達成感を感じることができた。事前に動画をみていてよかったと思う。

映像教材

監修：近畿産科婦人科学会 / 近畿産婦人科実習セミナー（POP-K）実行委員会
制作：大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室



計測編 / スクリーニング編

- 👉 探触子（位置・角度・走査）の把握
- 👉 いつでもどこでも学習（予習・復習）